

2019. 04. 22 記者会見資料

佐賀学ブックレット⑦青木歳幸著  
『佐賀藩の医学史』について

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

客員教授 青木歳幸

(洋学史学会前会長、日本医史学会理事、  
幕末佐賀研究会会長、佐賀医学史研究会事務局長)

# 本書のねらい

- 佐賀藩の医学史について、江戸時代の初期の漢方医学の成立と佐賀藩の先進的な試みから、幕末から明治にかけて日本の近代医学の成立へ大きな影響を与えたことを通史的に明らかにする。

→佐賀地域が歴史的に特性としていた「文化導入の先進地／発信地」としての姿を、医学史を通じて明らかにする

- ・ 佐賀藩医学の先進性→近代医学の礎を築く

- ①医学稽古→医師養成を積極的に藩（国家）が支援

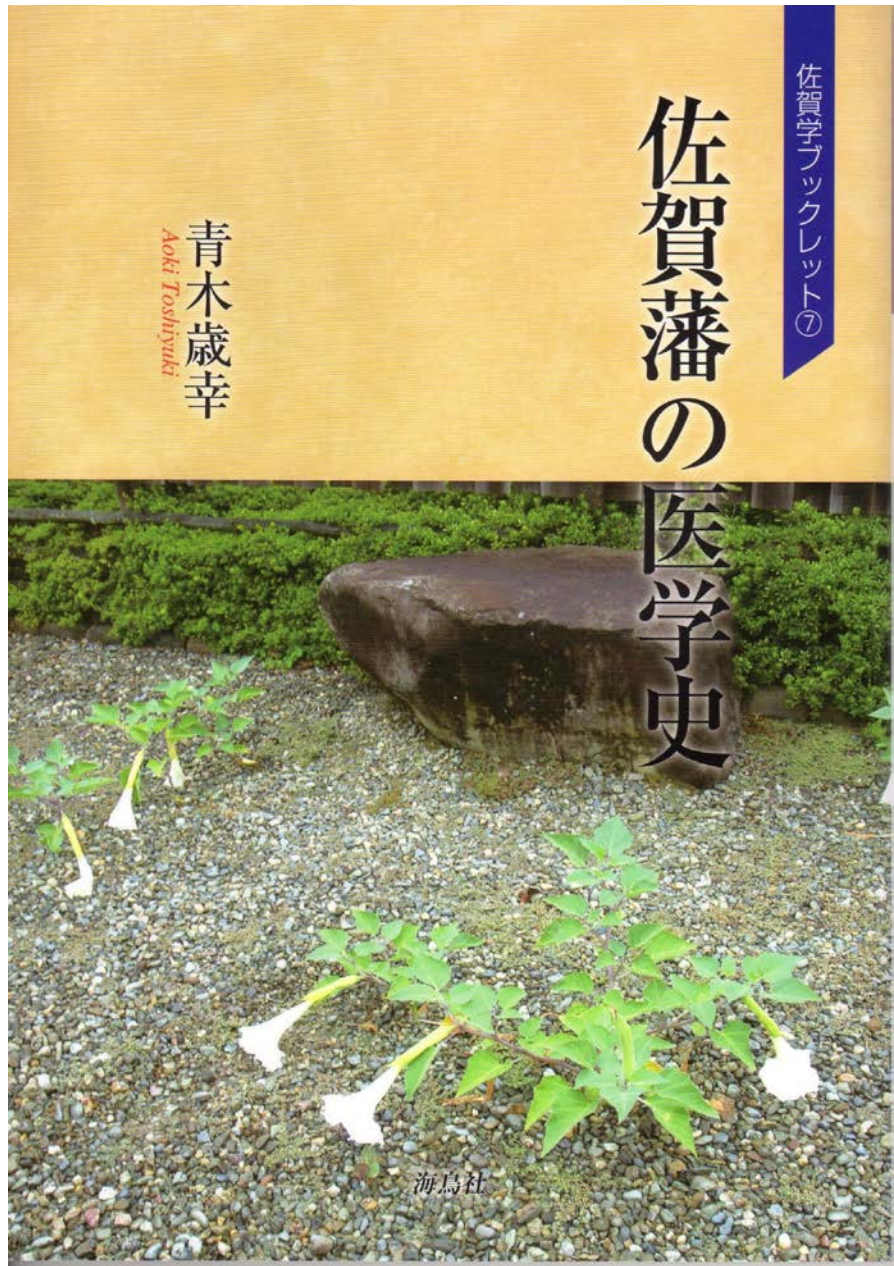
- ②医業免札制度→医師の国家資格試験制度の先駆

- ③種痘を最初に組織的实施→地域医療の衛生制度の先駆

- ④西洋医学の全領内医師への強制→近代医学の基礎を形成

# 目次と内容

- 江戸時代前期佐賀藩の医学→京都の名医曲直瀬家への肥前出身医師が最多
- 佐賀藩医師の医学稽古→佐賀藩は医師養成に補助金を交付
- 実学の奨励と佐賀藩→佐賀藩は庶民医療のために『普救類方選』を刊行
- 西洋医学との出会い→佐賀藩は西洋に最も近い藩で西洋文化が導入された。
- 佐賀藩医学教育の普及→1785年佐賀藩は全領内医師への医学教育を開始
- 幕末期佐賀藩の医学教育→医業免札制度で医師の国家資格試験制度開始
- 種痘の導入と普及→最大の疫病天然痘予防に最初に成功した佐賀藩とその普及
- 近代医学・薬事制度と佐賀藩→近代医学・薬事制度は佐賀藩から全国へ



# 現代日本の近代医学は、 佐賀藩から始まった。

- ・ 2019年3月29日発行、全99頁
- ・ 発行者 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
- ・ 制作・発売 有限会社海鳥社（福岡市博多区奈良屋町13-4、電話092（272）0120、FAX092（272）0121
- ・ 定価 1000円＋税

佐賀県内の主要書店にて販売します。